

筑波大学理療科教員養成施設紀要 編集規定

(2024年10月)

1. 筑波大学理療科教員養成施設（以下「理療科」）は教育・研究・臨床に係わる雑誌を発行する。

雑誌の名称は「筑波大学理療科教員養成施設紀要」（以下「紀要」）とする。

2. 本誌は理療の教育・研究・臨床に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、あるいは現在投稿中でない論文に掲載する。
3. 本誌は原則として、年1回発行する。
4. 紀要掲載文の区分は以下の通りとする。

- 1) 原著論文（査読有り）

独創性、新規性を認める研究論文

- 2) 総説

情報提供を主な目的に、先行研究を総括し、問題の解明に向けた検討を行った論文

- 3) 報告

情報提供を主な目的とした、実験研究論文、症例報告

- 4) 資料

情報提供を主な目的とした、「報告」、「総説」に該当しない論文

- 5) その他

上記に当てはまらないもの

5. 投稿文章は別に定める執筆規定に従い体裁が整っていないなければならない。
6. 紀要の編集及び投稿論文の審査をするために紀要編集委員会をおく。
なお、論文の内容により外部に査読を依頼することがある。
論文の採否・区分は、原則として本会が決定する。
7. 投稿文章の筆頭者は、理療科に関わりがあると本会が認めた者とする。
8. 著作権は本会に帰属する。
9. 原稿は原則として返却しない。
10. 本紀要は医学中央雑誌、及びつくばリポジトリに掲載される。

筑波大学理療科教員養成施設紀要 執筆規定

(2024年10月)

1. 原稿の構成

・原稿は和文または英文とする。

・原稿の区分に限らず本文は10,000字以内（英文原著では4,500語以内）、和文要旨は500字以内、英文要旨は300語以内、キーワードは5個以内、引用文献は30編以内、写真・図・表は計10個以内とする。

1) 表紙（論文タイトル、著者名、所属機関名）、論文タイトル（著者名、所属機関名はここには書かない）、要旨（500字以内）、キーワード（3～5）、本文、利益相反、プライバシーの保護及び倫理的配慮について、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

論文区分「その他」については、要旨、キーワード、利益相反、プライバシーの保護及び倫理的配慮については記載しない。

2) 本文の構成は以下を基本とする。

I. 緒言

II. 方法（症例報告では「症例」）

III. 結果（症例報告では「経過」）

IV. 考察

V. 結語

3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …上付きで記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

4) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

2. 用紙・書式

1) 用紙はA4サイズで横書きとすること。原稿はワープロまたはパソコンを用い、12ポイント/ゴシック体で、本文は40文字×40行で作成すること。

2) 項目の階層は以下の通りとする。

I, II, III…, 1, 2, 3…, 1), 2), 3)…, (1), (2), (3)…, ①, ②, ③…, a, b, c…, (a), (b), (c) …

3. 用語・単位

1) 和文は口語体の常体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじりを用い、句読点・かっこは1字と扱う。外国語、外国人名、地名、機器名は原語のまま用いる。ただし一般に日本語化している外国語はカタカナを用いてもよい。

2) 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, μ g, mg, g, kgと記す。

3) 年号は西暦とする。

4) 数字はアラビア数字を用いる。

5) 数字・英字は全て半角とする。

6) 読点は「、」、句点は「。」を用いる。

4. 利益相反 (Conflict of Interest : COI)

利益相反に関係する事項は、その有無を本文の最後に開示すること。利益相反がある場合は、その内容（物品・資金の提供など）を記載すること。

例

- ・ 該当しない場合
「利益相反に関する開示事項はない。」
- ・ 該当する場合
「利益相反に関する事項を開示する。（企業名）から物品名・金額」

5. 文献

文献は引用文献に限定し、表記はバンクーバースタイルとする。

1) 雑誌中の論文の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする。人名の間は「, 」で区切る)。論文タイトル (副題も含め全て記載する)。掲載誌名 (正式名称あるいは正式略名)。発行年 (西暦) ; 巻 (号) : 起始頁 - 最終頁 (最終ページは起始頁と同一桁に同一数字がある場合は省略する)。

例

- 1) 筑波一郎, 文京太郎, 東京二郎, ほか. 身体調整の運動と意義—鍼灸・マッサージと運動の科学—. 体育の科学. 2011;61(10):752-8.
- 2) Naruto Yoshida, Naoyuki Kobayashi, Akihiko Masunari, et al. Changes in the muscle reaction time of ankle periarticular muscles by balance training. J Phys Fitness Sports Med. 2013; 2(4): 493-500.

2) 書籍の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする) : 表題. 書名. 編者名 (編者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする). 版数. 発行者 (社). 発行地. 発行年 (西暦) : 起始頁-最終頁 (最終ページは起始頁と同一桁に同一数字がある場合は省略する)。

例

- 1) 工藤滋: 第8章 梨状筋症候群. 鍼通電療法の極意. 緒方昭広. 初版. 社会福祉法人 岡山ライトハウス. 岡山県. 2023:156-67.

3) ウェブページの場合

作成者名. サイト名. URL (取得年月)

例

- 1) 厚生労働省. 令和2年国民生活基礎調査の概況.
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/> (2014年8月取得)

4) 私信、未刊行物、投稿中の文献の場合

リストに入れず、本文中で説明するか、または脚注として示す。ただし、印刷中のものは文献欄に上記の引用方法で記載し、末尾に (印刷中、英文の場合はin press) と記載する。

6. 提出物の仕様

1) 投稿表（本紀要の巻末に付録 本施設HPよりダウンロード可能）

<https://www.riryou.tsukuba.ac.jp/research/transaction.html>

2) データ（形式）

「原稿の構成」に従い、表紙から図表までは、1つのワードファイル（doc/docx形式）及びpdf（pdf形式）で作成する。図表については、別途エクセル（xls/xlsx形式）及びpdf（pdf形式）のものも合わせて添付する。

7. 原稿送付先

e-mail添付ファイルにて下記宛てに送付する。

筑波大学理療科教員養成施設紀要編集委員会

e-mail : yousei-kiyou@un.tsukuba.ac.jp